

令和 6 年度第 4 回射水市地域公共交通活性化協議会 会議録

- 1 開催日時 令和 7 年 2 月 1 7 日（月）午後 2 時 3 0 分～午後 3 時 3 0 分
- 2 開催場所 大島コミュニティセンター 3 階大ホール
- 3 出席者 本田会長、寺林副会長、景山委員、見角委員、山崎委員、金山委員、篠田委員、源代委員（代理：荒谷氏）、中松委員、太田委員、渡辺委員、山田委員、大村委員、油谷委員、田中委員、楠委員、福田委員（代理：栗原氏）、宮腰委員、原田委員、長谷川委員
- 事務局 明野市民生活部次長、春木生活安全課長、水島交通政策班長、土橋主査、笹島主任
- 欠席者 新倉委員、有田委員、片岡委員、上野委員、白川委員、安田委員、中尾委員

4 会議概要

(1) 開会

(2) 協議事項

- ① パブリック・コメントの実施結果について 資料 1
- ② 地域公共交通計画（素案）からの修正事項について 資料 2
- ③ 射水市地域公共交通計画（案）について 資料 3

【質疑応答】

（委員）

- ・パブリックコメントの意見提出者は 1 名、意見数は 4 件とのことだが、閲覧数はどの程度であったのか。また、実施期間が年末年始を含んだ約 1 ヶ月間というのは妥当なのか。

（事務局）

- ・窓口で閲覧された方の人数を集計することとしていないこと等から、閲覧数はわからない。
実施期間は、他の計画でも、概ね 3 週間から 1 カ月ほどで設定しており、妥当ではないかと考えている。

(委員)

- ・閲覧数がわからなければ、パブリックコメントで市民に計画の内容を見てもらえているか判断することが難しい。今後、閲覧数の把握の検討が必要ではないかと思う。

(会長)

- ・前回計画時のパブリックコメントの意見数など、比較できるものはないか。

(事務局)

- ・前は、提出者数は1名、意見数は6、7件程度であり、今回の意見数が極端に少ないということはないと考えている。
- ・なお、これまでの間に、(市民からの声を直接聞いている)庁内各課の意見も伺っている。

(委員)

- ・計画案P49の車両減価償却費国庫補助金は、どのようなものか。

(事務局)

- ・「のるーと射水」の車両を更新する際に活用したいと考えている国の補助金である。

(委員)

- ・「のるーと射水」の車両は積雪に弱い印象があるので、車両購入の際は四輪駆動も検討してもらいたい。

(会長)

- ・協議事項について、原案通り承認するという事でよいか。

(全員賛成)

(会長)

- ・協議事項について原案通り承認する。

(3) 報告事項

地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国庫補助金）に係る事業評価の書面協議結果について 資料4

(質疑応答なし)

(4) 閉会